
—〈お知らせ〉—

第2回 都医学研シンポジウム
脳神経疾患の臨床・研究の拠点形成による医療イノベーション

ビッグデータのデータマイニング解析によって、思いもよらぬ事象が浮き彫りになる情報処理の発想が、近年、医学研究や医療の分野でも応用されつつあり、それに伴い、臨床研究の方法や、それにより蓄積されてくるデータやノウハウの拠点化（データベース化）が、次世代での改革につながっていく……。

本シンポジウムでは、全国規模で行われているプリオン病の調査研究、アルツハイマー病の疾患修飾療法の開発へ向けた大規模な臨床研究に加えて、主に都立病院との連携を視野に入れた非アルツハイマー病（前頭側頭葉変性症）、脳腫瘍、および難治性てんかんにフォーカスを当てた病態解明の研究、診断・治療のデータベース構築とその応用について紹介します。

日 時 2012 年 11 月 28 日(水) 13:30~16:15

会 場 津田ホール (JR 総武線千駄ヶ谷駅)

プログラム

1. プリオン病の感染予防・病理検査の現状と今後の展望
水澤英洋（東京医科歯科大学神経内科，全国 CJD サーベイランス委員会委員長）
2. アルツハイマー病の全国臨床研究 J-ADNI の展開
岩坪 威（東京大学神経病理学，J-ADNI 主任研究者）
3. 非アルツハイマー型認知症研究の最前線
長谷川成人（東京都医学総合研究所）
4. 脳腫瘍病理診断 標準化の拠点形成
小森隆司（東京都立神経病院検査科，国立がん研究センター病理診断コンサルタント）
5. 脳神経病理データベースを駆使したてんかん病理診断
新井信隆（東京都医学総合研究所，本シンポジウム座長）

定 員 490 名（先着）

参加費 無料（どなたでも参加いただけます）

問合せ先 （財）東京都医学総合研究所事務局研究推進課普及広報係
Tel：03-5316-3109（直通）